

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17:30 ~19:30)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	4 人	0 人	15 人

前回の改善計画	・利用者や家族とのより良い関係性を築くためにも、利用者ひとりひとりに担当職員をつけることを継続。また、どのようなニーズがあり、どう支援していくかを月のミーティングで話し合いを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	・担当制をとることで利用者や家族に連絡する場面も多く、困りごとや要望等の理解が出来る。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	8	4	3	0	15
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	5	9	1	0	15
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いで声掛けや気遣いができていますか?	10	5	0	0	15
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	6	7	2	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ミーティングで担当職員が担当利用者の現状や変化について発信し、職員間で共有することで新たなニーズに気づき必要な支援を発見することが出来る。</li> <li>・訪問や通いで声掛けや気遣いができている。特に訪問では住み慣れた環境なのでより一層気遣いできている。</li> <li>・開始前に情報書を読み、その内容に疑問があるところは所長に確認している。</li> <li>・利用開始当日の朝は、新規利用者の説明があり、決められたサービス内容はすぐ対応している。</li> <li>・利用者には必ずこちらから先にあいさつしている。利用後は関わった職員が都度、申し送って支援に努めている。</li> <li>・利用日数が浅い場合などは、介助1つ1つ説明して、同意を得ている。</li> <li>・本人の想いを受けて、自立へ向けて、ご自身で出来る事をお手伝いしている。</li> <li>・傾聴することで安心してお話しやすい雰囲気作りを心掛けている。</li> <li>・毎月のミーティングで利用者の担当職員が利用者の状況を伝え、他の職員も話し合っている。</li> <li>・担当職員がいるのでケアマネの立場としては、サービスの内容を相談しやすい。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人を支えるために、家族、介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮が出来ていない。</li> <li>・情報量が多くすべてを把握できていない。</li> <li>・休み明け等で、申し送り事項が多く、知らなかった情報もあった。</li> <li>・自分から声を掛ける等、情報収集が不足していた点。</li> <li>・全員参加できておらず、支援の方法など全員で検討出来ていない。</li> <li>・ミーティングへの参加が難しい時は、本人の情報収集が出来ないことがある。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	(200字以内)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・継続し、利用者ひとりひとりに担当職員をつける。</li> <li>・利用開始前の情報について、利用前専用のファイルを作成し、情報提供書を回覧する形を取る。</li> </ul>	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17:30 ~19:30)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	6 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>継続してサービス担当者会議に参加する。また、カンファレンス等にも担当職員が参加していき、利用者の目標把握につとめる。支援内容に関してはケアマネと連携を取り、話し合いの場を設けていく。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>比較的、担当職員が会議に参加出来ており、利用者や家族の要望等には臨機応変な対応を取れているが、ケアプランの把握まで至っていないことがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	3	7	1	1	15
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	4	9	1	1	15
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	4	9	1	1	15
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	9	4	2	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>日々の利用者との関わりで、言葉にならないところも汲み取り、関わろうと努力している。</li> <li>機会があれば担当者会議に参加するように努めている。現状を家族やケアマネに共有し、必要な支援を考えられている。</li> <li>利用者、家族から聞いた話はリーダー、所長へ報告し、毎月のミーティングでも共有できるよう事前に用紙記入を心がけている。</li> <li>ケアマネを見かけた時はなるべく情報を共有できるようにしている。</li> <li>毎月の会議や朝の申し送り時などに、利用者の希望や変化など支援内容のモニタリングをする事がよくある。</li> <li>～したいは、介護職員でよく把握してくれていると思う。</li> <li>本人の～したいを大切に、家族の希望も考慮している。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>サービス担当者会議やカンファレンスに参加できていない。</li> <li>利用者の目標把握や支援内容に関して、ケアマネと連携を取れていない。</li> <li>ミーティング以外でのケアマネとの話し合いの場を設けること。</li> <li>全利用者のケアプランの把握が出来ていない。</li> <li>支援内容に関してケアマネと連携を取り、話し合いができていない。</li> <li>本人の～したいより、介護者家族の想いに寄り添いすぎてしまっていることがある。</li> <li>積極的にミーティングなどで発言出来ていない。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>ケアプランを把握するため、確認する機会を設ける。具体的にはケアプラン専用のファイルを作成し、それに各利用者のケアプランを綴じる。また、必ず目を通すことが出来るように毎月 1 回、担当職員がプランの評価を行い、定期的に確認する。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17:30 ~19:30)

3. 日常生活の支援

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	8 人	4 人	2 人	1 人	15 人

前回の改善計画	・いつもと違った言動があった際は、申し送りノートに記載し、情報共有に努める。また、臨機応変なサービスを検討していく。
前回の改善計画に対する取組み結果	・体調や状況等により、通所から訪問に切り替えたり、病院受診したり、買い物や散髪等の臨機応変にサービス提供を行えている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	5	7	2	1	15
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	8	6	1	0	15
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	4	7	2	2	15
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	7	3	0	15
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	7	6	2	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・いつもと違った言動があった際は、申し送りノートに記載したり、職員同士に報告したりして情報共有に努めている。</li> <li>・自分一人では臨機応変なサービスを検討していくのではなく、職員同士で検討している。</li> <li>・食事形態は嚥下力や義歯、本人の希望によりキザミ食やミキサー食など5段階の食事内容にしている。</li> <li>・入浴は下肢筋力低下や体調などを考慮しながら行っている。</li> <li>・排泄もADLや希望からトイレやポータブル、時間的なことなど本人に合った介助をしている。</li> <li>・申し送りノートへ記入するようにしている。</li> <li>・利用者の状態に合わせたケアを心掛けている。</li> <li>・普段一人でされている事でも気持ちに寄り添いお手伝いすることもある。</li> <li>・体調や気持ちの変化は介護サイドから発信あり、共有出来ている。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていない。その為、本人の希望に添った対応を取れているかと感じることがある。</li> <li>・実際に利用者と一緒にゆっくり会話する時間が取れていない。</li> <li>・違った様子などを全てノートに記入出来ていない。口頭で伝えてしまう。</li> <li>・本人の声にならない声を言語化出来ていない時もある。</li> <li>・生活歴の聞き取りがしっかりできていない。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	・以前の暮らし方が把握できるように専門の用紙を作成し、2.のケアプランファイルに綴じる。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17 : 30 ~19 : 30)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	2 人	1 人	15 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当者会議への参加は出来ていたため継続する。利用者の生活での様子に変わりがあれば職員間で都度報告し合って共有。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・担当職員が比較的担当者会議に出席出来ている。利用者の様子の変化等は申し送り、共有しているが、情報量が多く、全てを把握しきれていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係を理解していますか?	4	7	3	1	15
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れなないように支援していますか?	3	7	3	2	15
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	3	7	3	2	15
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	4	7	3	1	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎月のミーティングで、利用者の生活での様子に変わりがあれば、その都度、職員間で共有している。</li> <li>・家族との関係や本人の想いを聞き、必要で差し支えない程度の内容を共有、提案している。</li> <li>・他の職員が関わった時の様子等を自分から聞くように心掛けている。</li> <li>・本人の地域との関係を理解している。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者の暮らしに必要な民生委員や地域資源の把握が出来ていない。</li> <li>・普段の生活は予測が出来ないことが多い。</li> <li>・これまでの生活スタイル、人間関係を少しずつ分かってきたが 100%は理解していない。</li> <li>・事業所以外での利用者の暮らし方については、本人からコミュニケーションをかねた会話の中で少し聞く程度でしっかりと把握出来ていない。</li> <li>・本人と家族、介護者や地域との関係が切れなないように支援できていない。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ケアマネ訪問時に、事業所での様子を家族（遠方）に伝えられるよう、利用者訪問前に、ケアマネが担当職員に利用者の様子を尋ねる機会を設ける。また、ケアマネ訪問時に、聞きとった自宅での様子を職員にフィードバックする。</li> <li>・利用者を支援してくれている地域の人、友人、民生委員の名前や連絡先を把握した時にケアマネや職員が随時かきこんでいける用紙を作成し、情報共有していく。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17:30 ~19:30)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5 人	7 人	3 人	0 人	15 人

前回の改善計画	・地域資源についての研修が出来ていないため、研修を検討する。
前回の改善計画に対する取組み結果	・地域資源の研修は行っていない。※地域資源について、説明すると理解は出来ている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?	4	8	2	1	15
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	7	2	0	15
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	7	8	0	0	15
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	7	8	0	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・急な利用変更があった際は、職員全員で協力して対応している。</li> <li>・些細なことでも話が出来る。</li> <li>・本人の変化に気づき、共有出来る。</li> <li>・通いや訪問、宿泊は家族の希望も多い。その中で本人の想いに寄り添い、受け止め、快適に過ごせるように努めている。本人の変化もすぐに連携して対応している。</li> <li>・その日の本人の状態を記録し、確認している。職員情報共有している。</li> <li>・本人の希望を伺うようにしている。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域資源について研修が出来ていない。</li> <li>・地域資源について、どのようなものがあるか知らない。また、地域資源を活用出来ていない。</li> <li>・地域の資源の活用が出来ていない。</li> <li>・つつい事業所のサービスで完結してしまっている。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・その人の住んでいる地域のサロンや100歳体操などインフォーマルなサービスをケアプランを閉じるファイルにメモしておく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17 : 30 ~19 : 30)

6. 連携・協働

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	7 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画	
	・コロナ禍でも出来ることを継続していく。こども園との作品交換等。
前回の改善計画に対する取組み結果	
	・こども園との作品交換は現在、作成中である。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	4	7	4	0	15
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	3	8	4	0	15
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?	2	4	6	3	15
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	7	3	1	15

できている点	
	・コロナも少し落ち着いてきたので事業所内でのイベントが利用者のみではあるが開催出来ている。 ・その他のサービス機関との連携はよく出来ていると思う。 ・時間を見つけて作品交換の作品作りをしている。

できていない点	
	・コロナの影響で子供との交流が出来ていない。 ・地域の各種機関、団体の活動やイベントに参加出来ていない。 ・会議に参加出来ていない。 ・自治体や地域包括支援センターとの会議に参加出来ていない。

次回までの具体的な改善計画	
	・感染予防のもと、可能な範囲で地域のイベントに出かけたり、地域の人との交流の機会を作ったりする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17 : 30 ~19 : 30)

7. 運営

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	7 人	3 人	1 人	15 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナが落ち着いたのちに交流が図れるようにどのような地域ボランティアがあるのか情報収集に努める。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・事業所内では交通安全協会の講演が再開されているが、以前のような交流までは至っていない。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができているか?	5	8	1	1	15
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	7	2	0	15
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	6	4	2	15
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取り組みを行っていますか?	3	6	4	2	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・家族と話す際は、利用者だけでなく、家族の想いも聞くようにしている。</li> <li>・家族に出会った時はなるべく話をするようにしている。</li> <li>・意見は言いやすい。</li> <li>・家族や利用者からの意見を反映するようにとりくめている。</li> <li>・職員間で共有は出来ている。</li> <li>・利用者、家族からの意見や苦情があった場合は、速やかに報告し対応している。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域ボランティア等の情報収集が出来ていない。</li> <li>・周りからの目を意識した行動が取れているか。買い物同行や病院付き添いの際、自身の行動は適切なのかどうか不明。</li> <li>・コロナ禍にて積極的に地域と協働した取り組みはあまり出来ていない。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の方から話やすい関係性を築くために、まずは利用宅に送迎や訪問に伺った時に、出会った近隣の方にあいさつをする。</li> </ul>
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17 : 30 ~19 : 30)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	7 人	7 人	0 人	1 人	15 人

前回の改善計画	・ 事業所内研修は二人体制にて協力し合い次の月に繋げる。
前回の改善計画に対する取組み結果	・ 計画通り二人体制で行えているが、研修内容毎に分けるだけになっていることもある。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修(職場内・職場外)を実施・参加していますか	7	5	1	2	15
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	4	4	4	3	15
③	地域連絡会に参加していますか	5	7	2	1	15
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	5	8	2	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 2人体制で事業所内研修をする。内容が詳しくなった。内容も変わって来るのでよいと思う。</li> <li>・ リスクマネジメントについて、情報共有を心掛けている。報告書の作成、管理、共有を協力して行っている。</li> <li>・ 研修(職場内と職場外)を受けている。</li> <li>・ 事業所研修は、毎月課題があり、職員が順に発表するなどして取り組んでいる。</li> <li>・ 入浴時やトイレ介助時、フロアで過ごす時やベッドからの転落などが防げるように見守りや介助に工夫している。</li> <li>・ 研修内容の記録等あれば確認している。</li> </ul>
--------	--

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 興味がある分野についての勉強がスタート出来ていなかった。</li> <li>・ 地域連絡会の意味が分からない。</li> <li>・ 自分のスキルアップのための時間はなかなか取れていない。</li> <li>・ 資格取得後から次の目標設定が出来ていない。</li> <li>・ スキルアップのための研修に参加できていない。</li> </ul>
---------	---

次回までの具体的な改善計画	・ 事業所内研修の二人体制を継続し、二人で一緒に研修に取り組むようにする。
---------------	---------------------------------------



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 令和 5 年 10 月 30 日 (月) (17 : 30 ~19 : 30)

9. 人権・プライバシー

メンバー 梶川 山本 上見 大石 北野 十倉 婦木  
足立 中川 欠席 井上 徳田 市川 田中  
土家 北岡

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	10 人	3 人	2 人	0 人	15 人

前回の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修は担当を付けて継続する。利用者に関わる時は、スピーチロックにならないよう理由を説明してより丁寧な声掛けを心がける。</li> </ul>
前回の改善計画に対する取組み結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>研修は行えているが、業務に追われたり、急いでいたりするについ「ちょっと待って下さい」と言ってしまうことがある。</li> </ul>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	10	3	2	0	15
②	虐待は行われていない	15	0	0	0	15
③	プライバシーが守られている	8	5	2	0	15
④	必要な方に成年後見制度を活用している	4	5	6	0	15
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	7	1	0	15

できている点	<ul style="list-style-type: none"> <li>丁寧な声掛けに気をつけている。</li> <li>理由を説明して介助を行っている。また、理由を伝えてから待って頂くようにしている。</li> <li>利用者に合わせた声掛けをする。</li> <li>排泄時は、他の方に聞こえない注意している。</li> <li>本人の話をよく聞いている。</li> <li>身体拘束や虐待はしていない。</li> <li>個人情報が入っている書類を見えるところに置かないようにしている。</li> <li>必要かと思われる人には包括の力をかりて成年後見制度の説明をしてもらっている。</li> <li>利用者に関わる時は、より丁寧な声掛けを心掛けている。</li> <li>個人ファイル等は外部に持ち出さず、適切に個人情報が管理出来ている。</li> </ul>
--------	---

できていない点	<ul style="list-style-type: none"> <li>スピーチロックにならないよう理由を説明した丁寧な声掛け。</li> <li>忙しい時や急いでいる時に配慮が出来ていない。</li> <li>入浴時はカーテンのしきりのみで、プライバシーが守れているのか疑問を感じる時もある。</li> <li>トレイの戸を閉めたつもりでも少し開いている事があった</li> <li>スピーチロックがどこまでかわかりにくい、たまに使ってしまうこともある。</li> </ul>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<ul style="list-style-type: none"> <li>身体拘束、虐待、個人情報やプライバシーの研修を継続し、理解を深める。</li> </ul>
---------------	--

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	余田洋右	法人・事業所の 特徴	法人運営理念「地域に根ざした誠実でより良い医療・介護の実践」に基づき、まずは誠実であることから信頼に繋げていきたいと支援しています。特に在宅での生活をいかにサポートするかを本人や家族と協力しながら事業所の運営を行ってきました。できる限り在宅での生活を支援するため、その方にあった訪問回数や内容（買い物や掃除等）を提供しています。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 柏原の郷	管理者	梶川 丞		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	0人	0人	5人	0人	0人	1人	0人	1人	0人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	・運営推進会議の開催にあたり、書面ではなく、対面での会議にし、事業所に対する気になることを話す機会を設けていく。	・コロナ感染症の状況を見ながらではあったが、対面での開催が出来るようになった。	・対面方式で開催できている。運営推進会議で民生委員の受け持っている事例を話合っている。 ・説明だけでは実際、取り組まれていても評価するのは難しい。	・会議議事録を添付資料とし、目視で確認できるようにする
B. 事業所のしつらえ・環境	・実際に足を運んでもらう機会を設け、事業所の環境を確認してもらう。 ・家族とは密に電話連絡しており、立ち寄られることがほとんどないため、事業所見学・自宅での相談ごとが出来るような機会を設ける。	・運営推進会議を開催することで足を運んでもらう機会が設けられた。 ・家族とは電話やメールで密に連絡を取り合い、サービス内容、要望や気になること等の相談ごとを聞かせてもらっているが、実際に足を運んでとまでは至っていない。	・実際分からないが、出来ていると言われると、そう評価するしかない。 ・事業所へ訪れた際には、鍵はかかかっていない。 ・不快な臭いも気にならない。	・感染状況を見ながら、地域交流の行事を再開し、その様子を写真や動画に残す。
C. 事業所と地域のかかわり	・運営推進会議を対面で行い、レジュメに地域での困りごとの項目を加え、把握に努めていく。	・運営推進会議にて、地域の方で困っている方を尋ねるようにし、把握に努めている。しかし、なかなか、そこからの支援までは繋がっていない。	・事業所に来た際、あいさつはしてくれている。 ・地域の人も知らない人は知らないと思う。 ・改善計画に関しては、話合いが出来ている。	・継続して、地域での困っている方の把握に努める。また、事業所を利用されている方を担当されている民生委員と連絡を取り、相談しやすい関係性を築く。
D. 地域に出向いて本人の暮らしを支える取組み	・来年度は、南多田の民生委員さんだけでなく、柏原（利用者に関わっておられる）民生委員さんにも声をかけ、地域で心配な方がいないか、困っていることがないかの情報共有をする機会を設ける。	・運営推進会議では、南多田だけでなく、利用者に関わる民生委員さんにも声を掛け、参加してもらい、情報交換を行えている。	・感染もあって実施出来ていなくても仕方ないのではないかと。 ・運営推進会議にて多くの民生委員が参加出来ている。声もかけておられた。	・新規利用される際には、民生委員さんにも連絡し、利用曜日等を伝え、連携しやすい関係を築き、相談しやすくする。
E. 運営推進会議を活かした取組み	・事例検討を行うことを周知し、事前に質問事項が挙がるような資料にし、当日配布するのではなく、事前配布する。	・資料作成まで至っていないが、事業所の事例について、情報交換している。	・事業所での取組みについては、運営推進会議で報告受けている。 ・個人情報の関係で地域の心配な方の情報が得られにくい。	・地域の心配な方等の状況等を共有できるように継続して、レジュメに項目を挙げ、意見交換を行う。
F. 事業所の防災・災害対策	・地域に提示が出来ていないため、運営推進会議時に写真で分かりやすい資料を提示する。 ・引き続き、警報時に自治会と連絡を取り合う。	・警報時、自治会や行政に連絡を取り、避難したことがあった。 ・写真を加えた資料提示が出来ていない。	・書面はあっても実際はわからない。 ・実際に警報時、連絡を受けた。	・継続して、警報時に自治会に状況とどう対応するかを報告する。